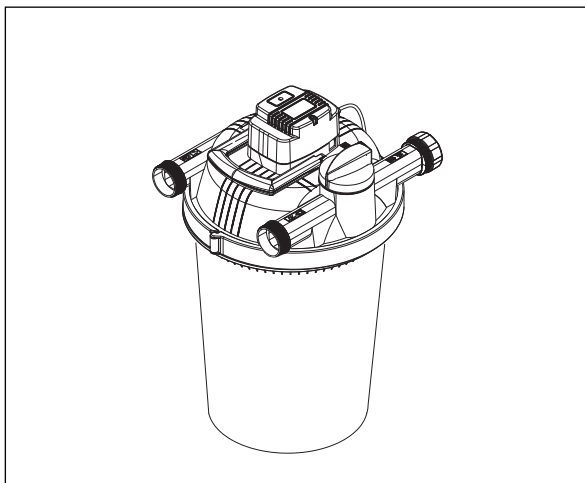


C50PT116

ポンドクリアー4000

この度はポンドクリアー4000をご購入頂きありがとうございます。
ご使用前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。

—— 目次 ——



1:ご使用前に

2:各部の名称

3:取り付け

4:メンテナンス

5:補足資料

日常ご使用して頂くお客様へ

機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。
万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、
設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いか、
散水箇所の植栽等に大きな変化は無いか必ず日常点検を実施して下さい。

取付工事担当者様へ

- 本製品の設置の際には別途ご用意頂く物がございます、事前にご確認下さい。
- 説明書と巻末の製品保証書は、必要事項を記入の上、工事完了後は必ず管理者様、施主様(日常操作可能な方)にお渡し下さい。

お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

1:ご使用の前に

取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下のようになっております。



警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

- 本製品は小規模観賞池用の[ろ過]機です。違う目的に使用したり、改造しないで下さい。
- 取り付けの際には、取扱説明書の手順、方法を守って下さい。
- ろ過した水は飲料用には使用しないで下さい。
- 冠水の恐れがある所、水の溜まる所、振動、衝撃の多い所では使用しないで下さい。このような場所で使用すると火災・感電・故障の原因になります。
- 皮膚や目に害を及ぼす事があるのでUV光線を直接浴びたり、見ないようにして下さい。
- 機器に異常が生じた時、機器の点検や清掃の際には電源を切って行って下さい。
- 濡れた手でコンセントプラグや電気接続部分を触らないで下さい。



注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

- 本体を設置する周囲に火気や高温になる要因が無い場所に設置して下さい。本体が変形したり火災の原因となる恐れがあります。
- 感電事故防止のため、安全アース線は必ず接地してご使用下さい。
- 凍結時、または凍結が予想される場合には使用を中止して下さい。
- 破損などの際に本体やホースの交換をできる様に、周囲の装飾、造形をして下さい。
- 本製品の使用は1台で使用した場合、貯水量が15t（鯉を飼う場合は2t）までの規模の池に限ります。大規模施設などの高度な浄化効果が必要な場合は別途ご相談下さい。
- 常温の水以外の液体に使用しないで下さい。
- 本体は水が入ると重量が増して、重くなりますので、設置箇所は地固めを充分に行い、平坦になるようにして下さい。
- 本体の上に物を乗せたり、腰掛けたりしないで下さい。
- 本製品はろ過によって水をきれいにする製品です。設置後すぐろ過機能が発揮をされるものではなく、効果が表れるのに日数が必要です、ご理解下さい。
- コンクリートモルタルを使用した新設の池に使用する場合は、モルタルの成分が水中に浮遊している場合がありますので、アク抜きなどをして水質が安定してからご使用下さい。フィルターが目詰まりして、ろ過機能が低下します。

製品保証について

本製品の製品保証については、巻末の保証規定をご参照下さい。



施工の際に注意して頂きたいこと

本製品はフィルター内に、有機物を無機物へ分解する有益なバクテリア（細菌）を繁殖させて水をろ過する生物ろ過と、フィルターで水中の不純物を取り除く物理ろ過と、UV(紫外線)照射による殺菌を同時に行います。
 タンク内が密閉されているので、水圧をほぼ維持しながら池に戻せます。
 水中ポンプ（別売）で水を本体へ圧送し、内部で段階を経て、ろ過されます。
 1:物理ろ過：水がフィルターを通過、ゴミは底に沈殿します。
 2:生物ろ過：フィルタに定着したバクテリアは水温が+10℃以上で機能します。
 3:UVC照射：UV-Cランプで紫外線照射。緑藻類、病原体が死滅します。

別途で用意して 頂く必要のある物

- ・ 水中ポンプ、水中ポンプ用ホース配管：38φブラックホース
- ・ 水量調節用のバルブ（40A程度）
- ・ AC100V電源
- ・ 制御ケーブル、コンセントプラグ
- ・ 漏電防止ブレーカー
- ・ 各種工具類（シールテープ、ドライバーなど）
- ・ ホース加熱用のドライヤー（ブラックホースを使用する場合）

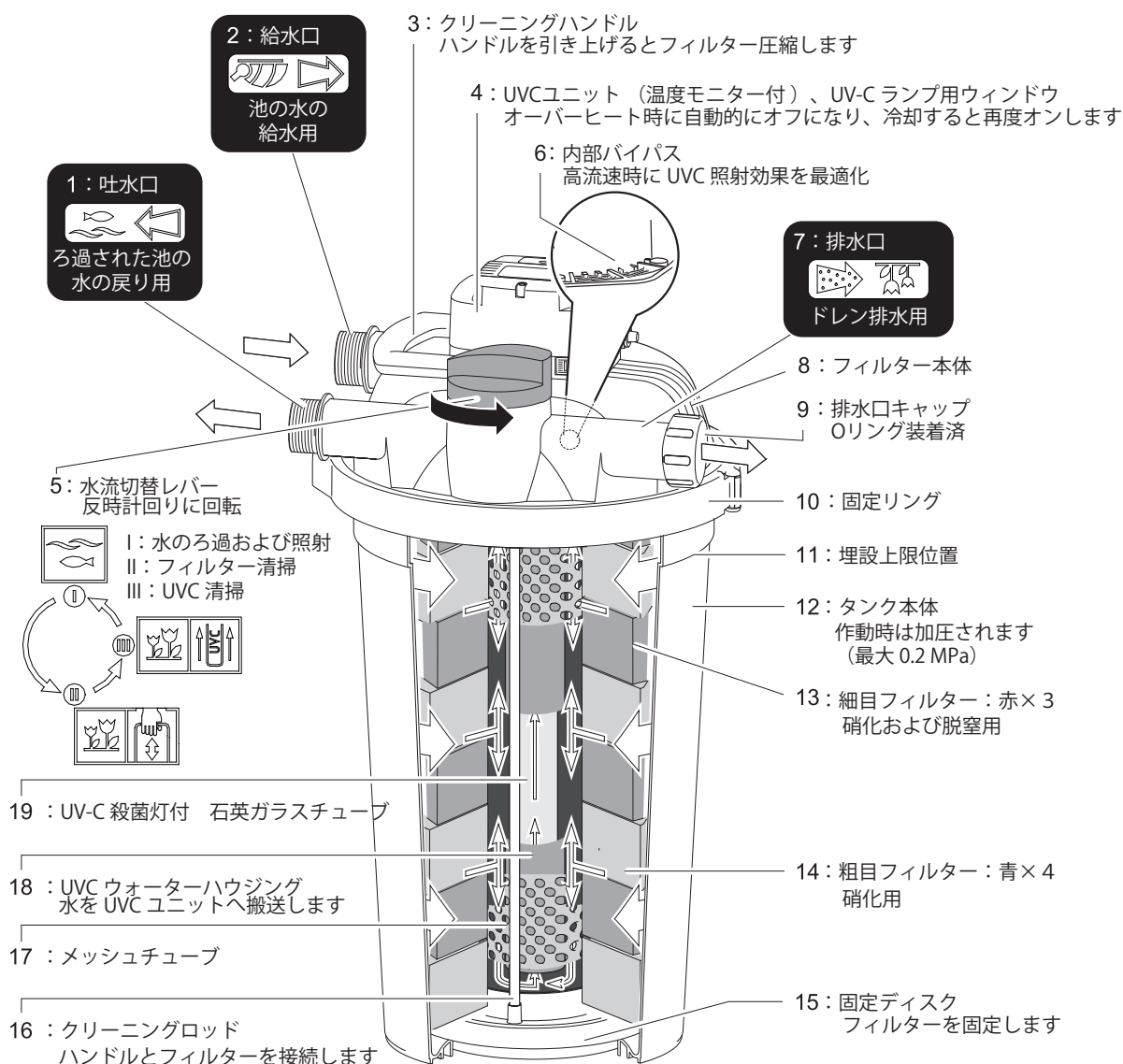
一部の部品や水中ポンプがセットになった、Eco-X13000ポンプセットを別売で用意しています。

商品仕様

項目1	項目2	数値
電源	定格電圧	AC100V :50Hz / 60Hz
	電力消費量	24W
	ケーブル長さ	5m
専用フィルター	フィルター数	青:4、赤:3
接続口径:給水、排水、吐水口	(対応ホース内径)	40mm、50mm
許容周囲温度		8～35℃
循環能力		11,340L/h (189L/min)
タンク容量		189L
池の最大容積	魚なし	～15t
	魚:小型あり	～7.5t
	魚:鯉あり	～2.0t
本体サイズ		H630×φ380
本体 乾燥重量		7.6kg

2:各部の名称

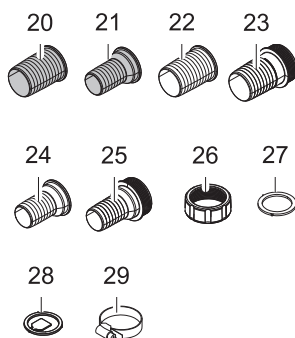
ポンドクリアー 4000 各部の名称



太: 内径50φ用

細: 内径38~40φ用
(ブラックホース、リベッドホース)

ホースは別途ご用意下さい、
内径50φ用ホースは扱いがありません。



- 20 x 2個: タケノコニップル太: 透明
- 21 x 2個: タケノコニップル細: 透明
- 22 x 1個: タケノコニップル太: 黒
- 23 x 1個: タケノコニップル太ネジ付: 黒
- 24 x 1個: タケノコニップル細: 黒
- 25 x 1個: タケノコニップル細ネジ付: 黒
- 26 x 3個: ユニオンナット
- 27 x 1個: パッキン
- 28 x 2個: パッキン 舌付
- 29 x 4個: ホースクリップ

・消耗部品

- ・UVC殺菌灯
- ・石英ガラスチューブ
- ・各フィルター

消耗の具合に応じて、交換して下さい。
フィルターは著しい損傷が無い場合は、
水洗いして使用するのがお勧めです。

3:取り付け

・水からの距離

フィルタシステムおよび変圧器は、水から2 m 以上離れた場所に、設置する必要があります。

ユニットを直射日光にさらさないでください。

ウォーターリターンポイント：水が間接的に（水路経由など）池に戻るするのがお勧めです。この方法により、水に酸素が取り込まれます。

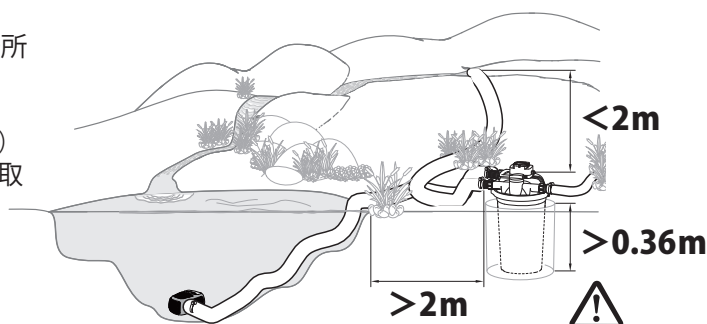
水面とウォーターリターンポイント間の高低差：最大 2 m

設置例 1：池の近くへの埋設。

池の近くに穴を掘り、容器を穴の中に0.36mまで埋設します。

設置例 2：池の近くへの設置。

池の近くの洪水から保護される場所に設置します（低木の陰など）。地面が堅く、水平である必要があります。



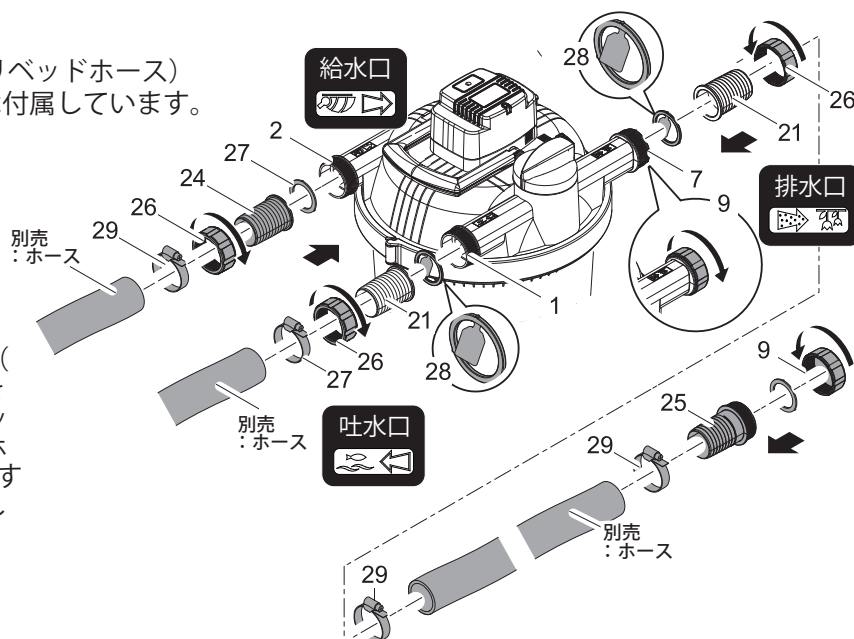
水が入ると50kg以上になります。設置前に地固めをしっかり行って下さい。

・設置

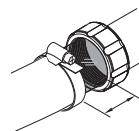
別売の内径38φブラックホース（または40φリベッドホース）を接続できます。ホース以外の接続用各部品は付属しています。



ユニオンナット(26)を黒色のタケノコニップル(24: 細 黒ネジなし)に押し込み、パッキン(27)をユニオンナット(26)に挿入します。ユニオンナットをタケノコニップル、給水口(2)に締め付け、ホースクリップ(29)をホース(別売)に押し込みます。ホースをタケノコニップルに(止まるまで)押し込み、ホースクリップを使用して固定します。



ユニオンナット(26)を透明のタケノコニップル(21: 細: 透明)に押し込み、パッキン舌付(28)をユニオンナットに取り付けます。ユニオンナットをタケノコニップル、吐水口(1)に締め付け、ホースクリップ(29)をホース(別売)に押し込みます。ホースをホースコネクタに押し込み、ホースクリップで固定します。



吐水口、排水口の透明タケノコニップルを取り付けた部分は水流や汚れの確認が出来る様にスキマを開けて下さい。



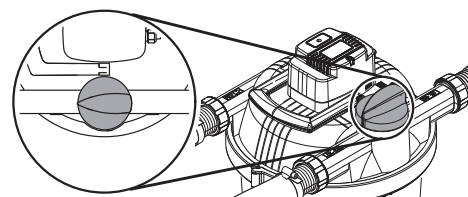
水流切替レバーが排水口の位置になっていない時でも、キャップがないと多少の水漏れをする場合があるので、必ずキャップを閉めて下さい。
(排水管接続する場合は、バルブ設置をして下さい。)

排水口は出荷状態のまま、キャップを取り付けておくか、上図のように排水用のホースを接続して、排水口キャップを取り付けてフタをするか選んで下さい。

排水口(7)から、排水口キャップ(9)を取り外し、ユニオンナット(26)を透明のタケノコニップル(21: 細: 透明)に押し込み、パッキン舌付(28)をユニオンナットに取り付けます。ユニオンナットを使用して、タケノコニップルをソケットに締め付けます。ホースクリップ(29)をホース(別売)に押し込みます。ホースをホースコネクタに押し込み、ホースクリップで固定します。フィルタ作動中、排水口(7)またはそれにつながる排水用のホース(別売)が、パッキン付の排水口キャップ(9)で塞がれていることを必ず確認して下さい。

・電源接続

- ・水中ポンプ、漏電ブレーカーは別途ご用意が必要です。
- ・水流切替レバーを『水のろ過』になっていることを確認して下さい。(右図参照)
- ・各ホース、排水口キャップ、ホースクリップの固定を確認します。
- ・水中ポンプの電源先に入れます。
- ・吸い上げた池の水が吐水口から流れ出るのを確認してから、UVC 殺菌灯の電源を入れます。
- ・UVC 殺菌灯と電源を接続します。外側の青色LEDランプが連動して点灯します。
- ・事故防止のため、漏電防止ブレーカーを取り付けて下さい。



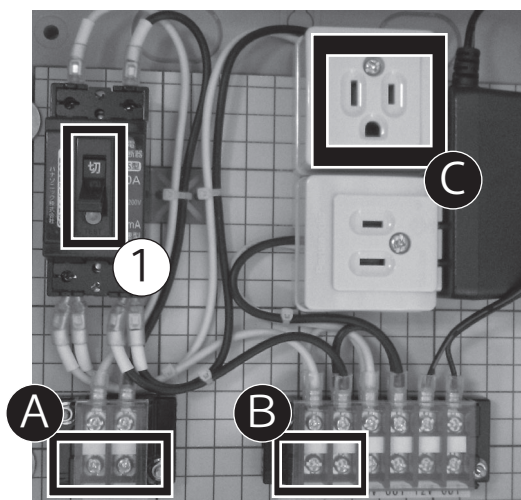
別売品での接続：C50PT116

・C50PT130:Eco-Xポンプ接続セット

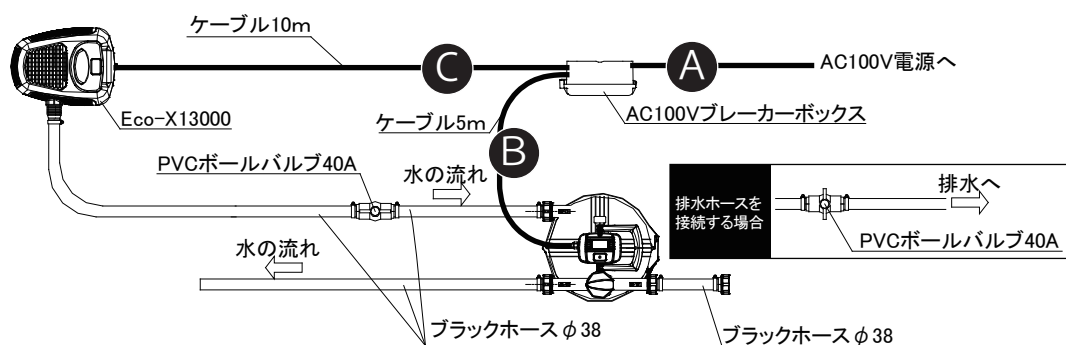
・AC100V 漏電ブレーカーボックス

- ・ボックスまでのケーブルは別途ご用意下さい
- ・ボックス固定用のアンカービスを別途用意して、内部に浸水しない場所に固定して下さい
- ・すべての接続が完了したら、①ブレーカーを「入」にして下さい。

- A AC100V 入力
- B AC100V 出力：内蔵 UVC 殺菌灯へ
- C AC100V 出力：水中ポンプへ



平面図



・作動

水温が 10 °C を下回ると、生物ろ過が機能しなくなります。水温が 8 °C 未満、または水面凍結が予想される際には、作動を停止します。

正常に稼働している場合：UVC ユニットのLEDが点灯。UV-C 殺菌灯はおよそ 8,000 時間ごとに交換する必要があります。

4:メンテナンス

・フォームフィルタの清掃

イージークリーン機能(クリーニングハンドルで、水で洗い流します)

により、フォームフィルタ、UVCユニット、UVCウォーターハウジングの清掃が容易です。

・排水口(7)からキャップを取り外します。
(キャップ内側のパッキンをなくさないようにしてください。)

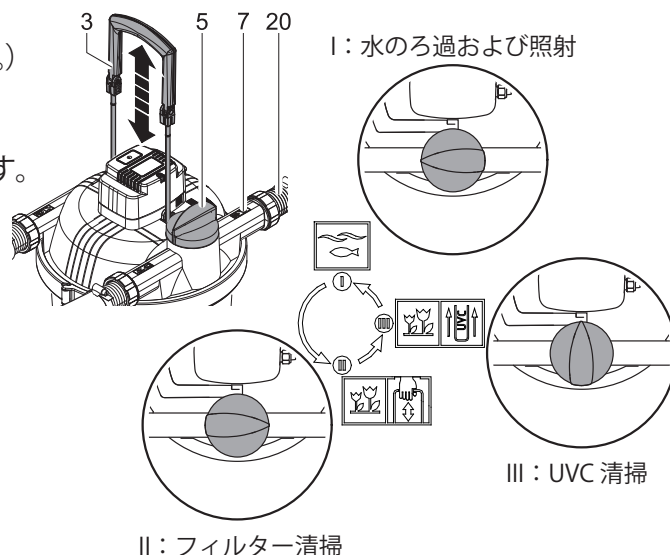
・水流切替レバー(5)を反時計回りに回し、「フィルター清掃」にして、クリーニングハンドル(3)を勢いよく引き上げてから、押し下げる動作を数回繰り返します。この動作で内部のフォームフィルタが清掃されます。

・透明タケノコニップル(20)に透明度の高い水だけ流れるようになったら、水流切替レバー(5)を反時計回りに回し、「UVC清掃」にします。

UVCユニットおよびUVCウォーターハウジングが洗浄されます。

・透明タケノコニップル(20)にき透明度の高い水だけ流れるようになったら、水流切替レバー(5)を反時計回りに回し、「水のろ過」にします(40)。

・排水口(7)にパッキンを付けたキャップを取り付けます。



・石英ガラスチューブの清掃

UVCユニットヘッドの脱着

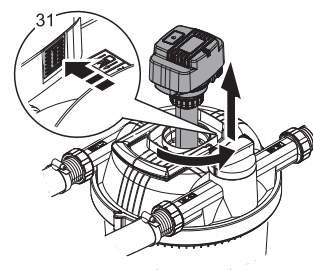
作業開始前に、UVC殺菌灯と水中ポンプの電源を切ります。

-UVCユニットヘッドの取り外し

・UVCユニットヘッド(4)の青色の「プレス」ボタン(31)を押します。

・UVCユニットヘッドを反時計回りに少し回します。

・UVCユニットヘッドをフィルタリッド(8)から慎重に引き出します。



・石英ガラスチューブ(19)およびOリング(32)に損傷がないかを点検し、必要に応じて交換します。

・湿らせた布で石英ガラスチューブの外側を清掃します。

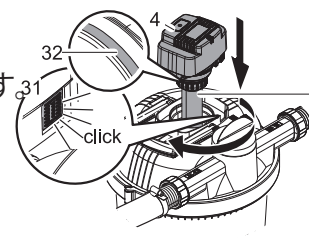
・UVCウォーターハウジング(4)のOリング(32)は強く固定されています。

交換が必要な際(Oリングから漏れやすくなった場合)は、Oリングのみを取り外します。

・UVCユニットヘッド(4)を慎重にフィルタリッドにはめ込みます。

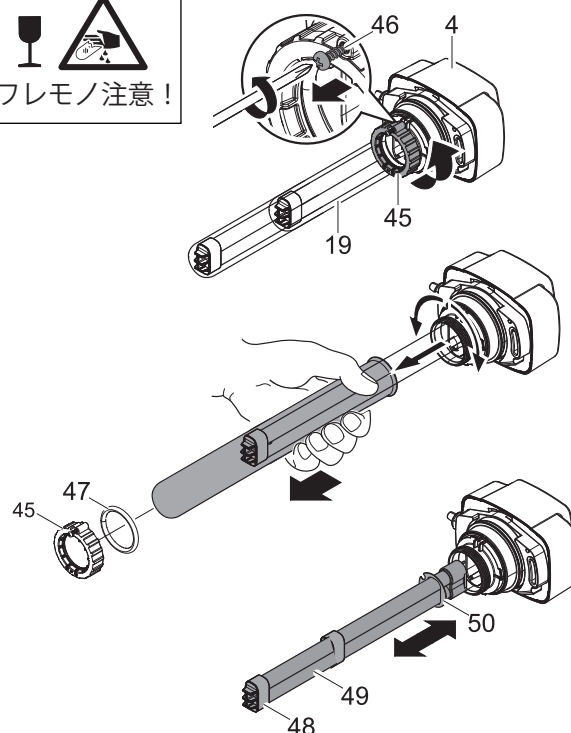
・UVCユニットヘッドが止まるまで、時計回りに回します。

青色の「プレス」ボタンがロックされます(31)。



・ UVC殺菌灯の交換

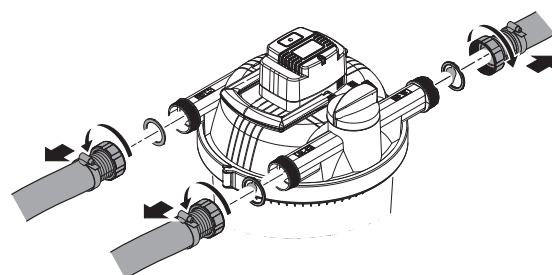
- 湿らせた布で石英ガラスチューブ (19) の外側を清掃します。
- 保持リング (45) から締め付けねじ (46) を取り外し、保持リングを取り外します。
- Oリング (47) を含む石英ガラスチューブを取り外します。
- ランプベースから UVC ランプ (49) を引き出します。
- UVC ランプから輸送用固定エレメント (48 および 50) を引き抜き、新品の UVC ランプを押し込みます。
- 新品の UVC ランプを差し込みます。
- UVC ランプ (49) の上に石英ガラスチューブ (19) を再度取り付けます。
- Oリング (47) および保持リング (45) を石英ガラスチューブの上から押し込みます。
- 保持リングが止まるまで回して締め付けます (51)。
- 保持リング用の締め付けねじ (46) を締め付けます。
- UVC ユニットヘッドを再度取り付けます。
- 水中ポンプの電源を先に入れます。
- UVC ユニットの電源を後で入れて完了です。



・ フィルターの交換

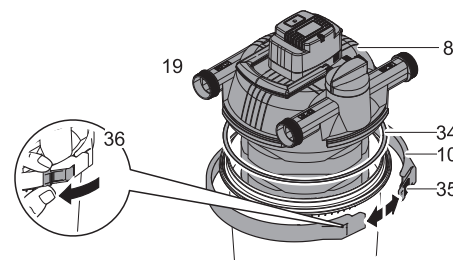
フィルターの損耗は機械的応力および経年劣化により生じます。作業開始前に、UVC 殺菌灯と水中ポンプの電源を切ります。

- すべてのホース、ホース接続部を取り外します。
- UVC ユニットヘッド (4) を取り外します
- タンク本体を開きます (P.7 参照)。
- フィルター部分 (39) を含む部分を取り外し、固定ディスク (15) が上向きになるようにして、柔らかく清潔な面に置きます。



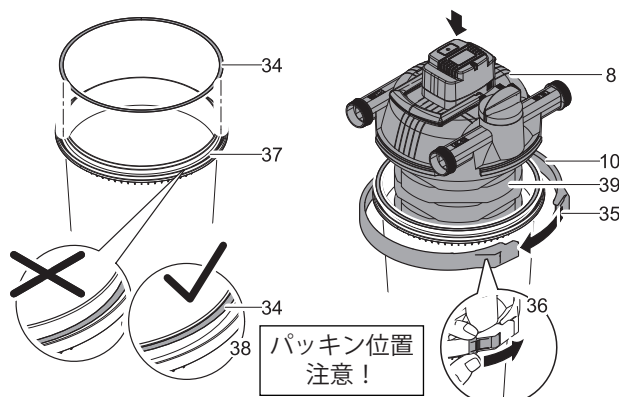
タンク本体を開く

- セーフティラッチ (36) を押し返します。
- クロー징フック (35) を内側に押し込みます。
- 固定リング (10) を開けて取り外します。



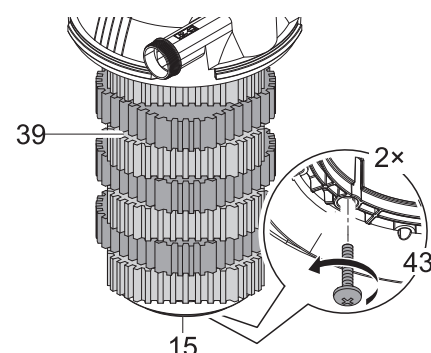
タンク本体を閉じる

- 容器の縁周りの溝 (37) を清掃します。
- リッドシールリング (34) に潤滑油を塗布し、容器の上端 (38) と同じ高さになるように取り付けます。
- フィルター部分も含むフィルターリッド (18) を容器に押し込みます。必要な場合は体重を掛けて押し込みます。
- 固定リング (10) を容器上端周囲に取り付け (電源ケーブルをはさまないようにします)、組み立てます。
- クロー징フック (35) をロックします。
- セーフティラッチ (36) を押し込みます。



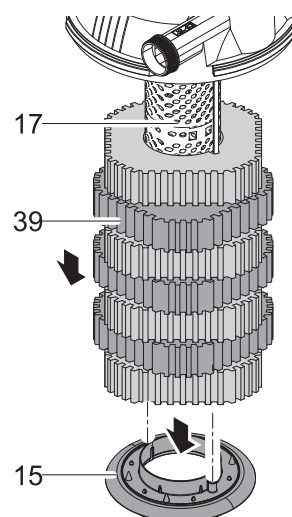
・フィルターの分解

- ・フィルターを点検し、洗浄または交換します。
- ・2本のねじ(43)を緩めて取り外した後、フィルタディスク(15)を取り外します。
- ・フィルターを引き出して清掃します。
- ・容器、固定リング、UVC ウォーターハウジング(18)およびメッシュチューブ(17)を含むフィルタリッド(UVCユニットは外します)を高圧洗浄機などで清掃します。
- ・必要に応じて、フィルターを個別に流水で洗浄します。



・フィルターの組立

- ・分解の順番と反対に組み立てていきます
- ・クリーニングロッド(16)に交互に、青色(14)と赤色(13)のフィルターを押し込み、クリーニングロッドに2種類の切り欠き面ができるようにします。
- ・最後のフィルターに、固定ディスク(15)の向きを確認して取り付けます。
- ・2本のねじ(43)を使用して、クリーニングロッドに固定ディスクを固定します。
- ・すべての部品を元に戻します。



・撤去／保管／越冬

- ・容器、ホース、接続部の水抜きを出来るだけ行います。
- ・完全に清掃し、ユニットに損傷がないか点検します。
- ・UVCユニットおよびすべてのフィルターとともにフィルタリッドを取り外して清掃します。
乾燥した凍結の恐れが無い場所に保管します。
- ・子供の手の届かない場所に保管します。
- ・埋設した容器の設置場所を、人や動物が事故を起こす危険が生じないように保護します。

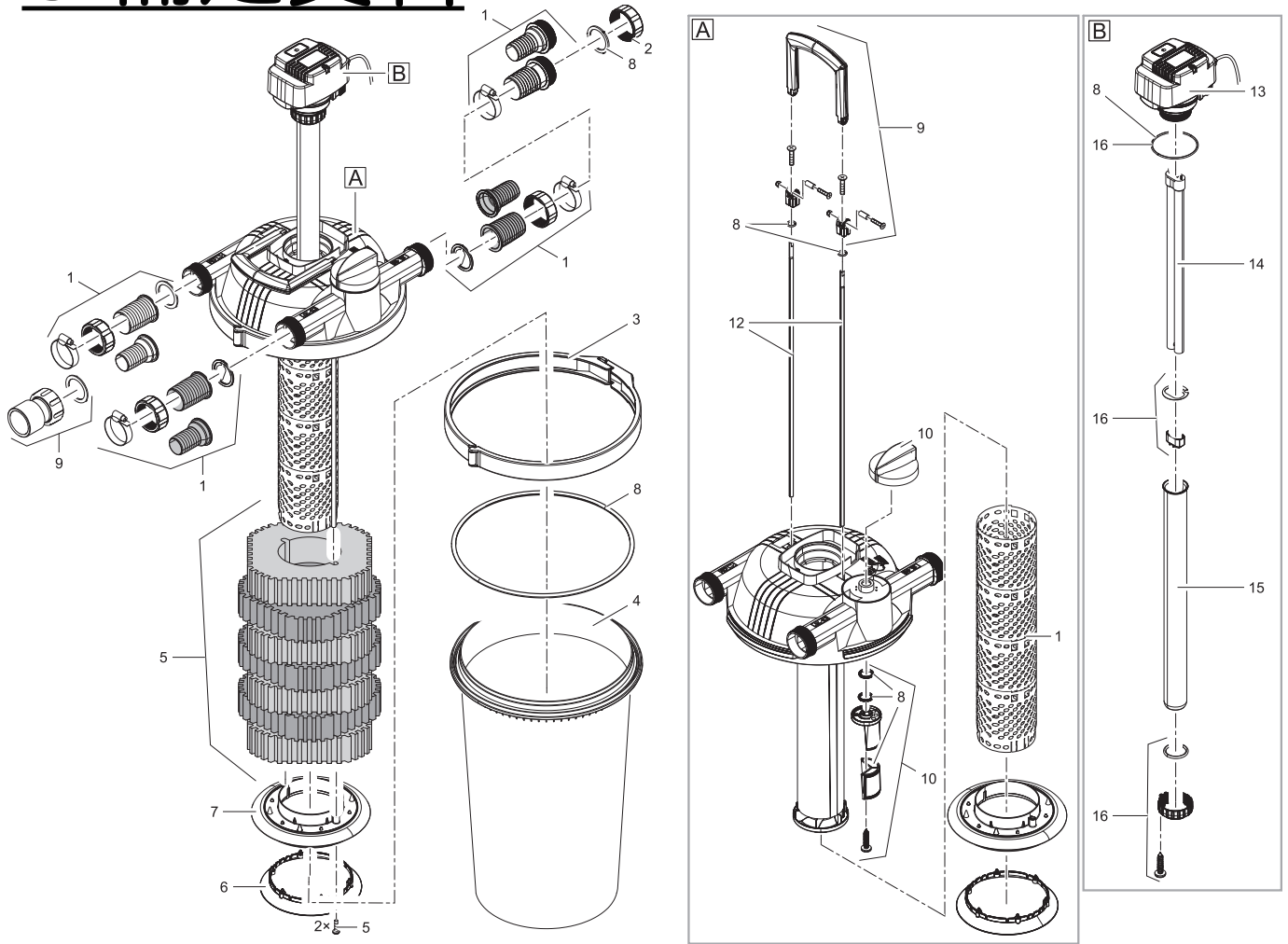
・廃棄

廃棄の際は自治体の条例を遵守して行って下さい。
必ずケーブルを切断して、電気ユニットを使用不能な状態にしてください。

・不具合からの復旧

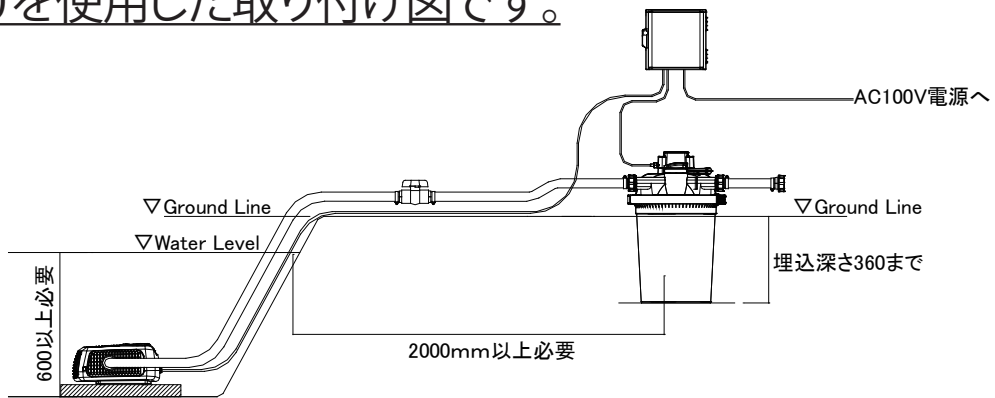
異常	原因	修復
給水口に 水が流れない	フィルタポンプがスイッチオンされていない	フィルタポンプをスイッチオンします。
	供給経路が詰まっている。	供給ラインを点検します
	機能スイッチが「水のろ過」に変わっていない	機能スイッチを「水のろ過」に変えます
UVC ランプの表示が 点灯しない	接続障害、または接続されていない	接続を点検します(電源プラグ、電源ヒューズ)
	温度モニターにより UVC ランプのスイッチがオフになった	UVC ランプを冷却します
	UVC ランプの障害	UVC ランプを交換します
ろ過性能が十分でない	石英ガラスチューブが取り付けられていない	石英ガラスチューブを取り付けます
	機能スイッチが「水のろ過」に変わっていない	機能スイッチを「水のろ過」に変えます
	ユニットの作動時間が短過ぎる	数日/数週間待ちます
	水が極度に汚れている	一度、池の水を抜き清掃して下さい
	魚や水生生物の個体数が多過ぎる	参照数値に従ってください
	フォームフィルタの詰まり	フォームフィルタを清掃します
	石英ガラスチューブが汚れている	石英ガラスチューブを清掃します
	UVC ランプの作動時間が 8,000 時間を超えている	UVC ランプを交換します

5:補足資料

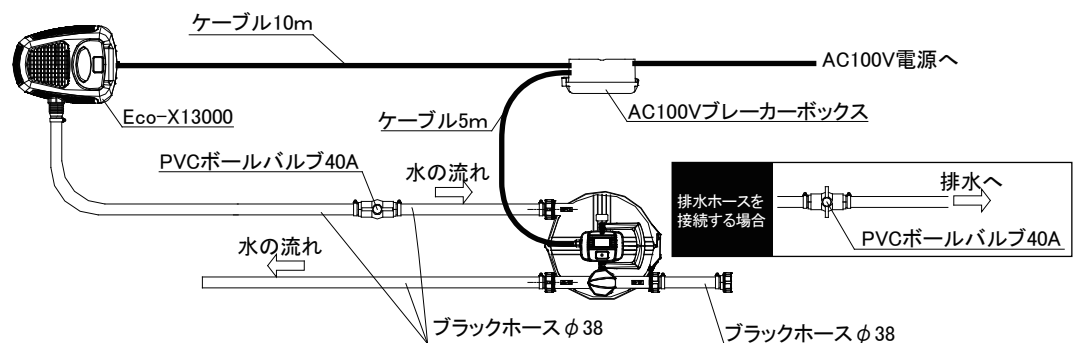


図はC50PT130を使用した取り付け図です。

立面図



平面図



<保証規定>

1. 取扱説明書、本体ラベルなどに記載された正常な使用状態で故障した場合、保証期間中は修理または同等品の提供をさせていただきます。
2. 保証期間内であっても以下の場合には有料となります。
 - ①取扱説明書、本体ラベルなどに記載された安全上の注意事項に反したご使用による故障及び損傷。
 - ②火災、地震、水害、落雷、その他天災・地変・公害・異常電圧・電波障害による故障及び損傷。
 - ③不適切な移動、落下などによる故障及び損傷。
 - ④給水系部品及び電磁弁の凍結による故障及び損傷。
 - ⑤各種の設定・角度変更等の調節作業、消耗部品の代金、及び交換。
 - ⑥本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入が無い場合、または伝票番号等の記載事項が書き換えられた場合
 - ⑦本書の提示が無い場合
3. 無償修理をご希望の場合、製品に本書を必ず添えて、ご持参またはご返送してください。尚、その場合の交通費、送料、梱包費等はおお客様のご負担となります。
4. 製品の故障またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責任を負わないものとします。
5. 保証期間経過後の修理・交換は有料にて承ります。
6. 本書は日本国内のみ有効です。
7. 本書に明示した保証条件のもとで無償修理をお約束するものです。
したがって、本書によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
8. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

<メモ>

製品保証書

本書は、本書記載の内容でお買い上げ日から規定期間内で保証する事をお約束するものです。下記にお名前、ご住所、電話番号を必ずご記入の上、故障内容を記したメモ等をつけて、製品に同封してください。保証規定については裏面をご参照ください。

<保証期間>

1年間

お買い上げ日 年 月 日

伝票番号 No.

お客様

お名前

電話番号

ご住所 〒

販売店様

会社名/担当者様

電話番号

ご住所 〒

販売店
ご担当者様へ

本書に、お買い上げ日、販売店をご記入の上、お客様へ製品と共にお渡しく下さい。
万が一、伝票番号の記載漏れのあった場合は下記まで、ご連絡頂きます様お願い申し上げます。

お問合せ先

グローベン株式会社

電話番号 / 052-619-6788

所在地 / 〒455-0025

受付時間 / 平日 9:00 ~ 17:30

名古屋市港区本星崎町字南 3998-31

※祝日、夏期休暇、年末年始を除く

個人情報の取り扱いについて

ご記載頂いたお客様の個人情報はお問合せ対応に必要な範囲で使用し、弊社規定に則り厳重に保管します。
なお、個人を特定出来ない情報に関しては、サービス向上や製品開発などに利用させて頂く場合がございます。
ご記載頂いた情報に誤りがある場合、弊社からご連絡できない場合があります。ご連絡頂いた個人情報は以下の場合を除き、第三者への開示、提供を致しません、お問合せ内容の修理、対応のために弊社関連会社や販売店様へ連絡する場合、機密保持契約をした外部業者に依頼する場合、法令などにもとづく場合。